

《履修上の留意事項》この授業は講義と演習からなる。講義は看護福祉合同で行い、演習はクラスに分かれて行う。初回のガイダンスにおいて授業の予定と自分のクラスをよく確認すること。
また、この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行う。

《担当者名》 井上 貴翔 (ikisho@hoku-iryu-u.ac.jp) 金盛 直茂 鎌田 禎子 花淵 馨也 福家 健宗 山田 桃子 (リ)

【概要】

大学における学びとは、高度な知識や技術を受動的に学習するだけでなく、自ら問いを発見し、情報を調べ、分析し、考察する能動的な知の探究である。この授業では、大学における主体的学習を行うための基礎的な学習方法・能力であるアカデミック・リテラシーを修得する。

【学修目標】

- ・大学における基礎的な学習方法・能力（アカデミック・リテラシー）を身につける
- ・日本語の基礎能力（聴く、読む、書く、話す）を修得する
- ・自ら情報を収集し、整理し、分析し、まとめるための自主的学習スキルを修得する
- ・グループでの協調性、コミュニケーション能力、ディスカッション能力を修得する
- ・レポートの作成方法を修得する
- ・プレゼンテーションの方法を修得する
- ・学習のセルフマネジメント能力を修得する

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	・授業の目的と内容の説明 ・アカデミック・リテラシーと自主的探究 ・日本語能力テスト	井上・花淵
2	ポートフォリオ作成 / グループ発表計画	・ポートフォリオ記入 : 目標・計画 ・学習方法についてのグループワーク ・グループ発表の計画立案	井上、金盛、鎌田、花淵、福家、山田
3	情報の収集と整理	・情報収集の方法 ・情報の検索、収集、分類 ・日本語能力テスト	井上、金盛、鎌田、花淵、福家、山田
4	論証の基本	・事実に基づいた根拠から主張への繋ぎ方	井上
5	グループ発表準備	・グループ発表の原稿と資料の作成	井上、金盛、鎌田、花淵、福家、山田
6	出典の示し方 / 発表資料作成のポイント	・出典の示し方 ・発表資料作成のポイント ・日本語能力テスト	井上
7	グループ発表準備	・グループ発表の原稿と資料の作成、リハーサル	井上、金盛、鎌田、花淵、福家、山田
8	グループ発表	・グループ発表 ・発表のピア評価および講評	井上、金盛、鎌田、花淵、福家、山田
9	授業の振り返り	・グループ学習：ノート確認、試験準備 ・ポートフォリオの記入 : 学習の振り返り ・レポート課題の説明 ・日本語能力テスト	井上、金盛、鎌田、花淵、福家、山田
10	レポートの基本	・課題の把握からアウトラインまで	井上
11	レポートの構成	・三段構成を基本としたレポートの構成	井上
12	レポートでの引用	・レポートにおける引用の示し方	井上

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	レポートの完成	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの推敲 ・レポートのピア評価 ・ルーブリック評価表によるセルフチェック 	井上、金盛、鎌田、花 淵、福家、山田
14	授業の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習：ノート確認、試験準備 ・日本語能力最終テスト 	井上、金盛、鎌田、花 淵、福家、山田
15	全体のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの講評 ・学習のセルフマネジメント ・ポートフォリオの記入：全体評価 	井上、金盛、鎌田、花 淵、福家、山田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・学習態度 15%
- ・日本語能力テスト 25%
- ・グループ発表貢献度 30%
- ・レポート 30%

【教科書】

井上貴翔他『大学生のための論文・レポート作成法 第3版』学術図書出版社、2024年

【参考書】

なし

【学修の準備】

予習：授業において課された課題をやってくる（120分）

復習：授業の振り返りを行い、重要なポイントを整理しておく（120分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護・福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる 学術的・実践的能力を身につけている。